

---

# オンデマンド交通導入検討部会の概要

---



RUMOI

その美しさに息を呑むほどの夕陽と  
世界三大波瀾のまち

# 1. オンデマンド交通とは

## ■ バスとタクシーの中間的な役割

AI技術を活用し、予約状況に応じて効率的なルートを生成する「次世代の乗り合い交通」

### ○予約制

アプリ、WEB、または電話で手軽に予約

### ○効率運行

AIが最適なルートと配車をリアルタイムで算出  
複数の利用者を効率よく乗降

### ○柔軟な乗降

自宅付近や病院など、きめ細やかな乗降に対応



図 のるーと美唄(出典:ネクスト・モビリティ(株)HP)

# 1. オンデマンド交通とは

## ■ 既存交通機関との比較

| 特徴   | 路線バス      | オンデマンド交通              | タクシー                  |
|------|-----------|-----------------------|-----------------------|
| 運行経路 | 固定        | 予約に応じて最適化             | 自由                    |
| 運行時間 | 固定(ダイヤ改正) | 予約がある時のみ運行<br>(運行時間内) | 朝6時から深夜2時まで<br>(変動あり) |
| 不要   | 不要        | 必要(アプリ・電話)            | 必要(配車依頼)              |
| 料金   | 安い        | バス以上、タクシー以下           | 高い(距離に応じた加算)          |

# 1. オンデマンド交通とは

## ■ 他自治体導入事例

| 市町村名 | 人口数     | 名称     | 導入年月日<br>(実証運行含む) | 概要                                                 |
|------|---------|--------|-------------------|----------------------------------------------------|
| 名寄市  | 23,802人 | のるーと名寄 | 2023年11月          | 【金額】 300円～700円<br>【範囲】 市街地全域<br>【運行】 バス事業者、タクシー事業者 |
| 美唄市  | 18,745人 | のるーと美唄 | 2024年10月          | 【金額】 300円<br>【範囲】 市街地全域<br>【運行】 タクシー事業者            |
| 富良野市 | 19,049人 | ふらのり   | 2023年11月          | 【金額】 300円～500円<br>【範囲】 市街地全域<br>【運行】 タクシー事業者       |
| 網走市  | 31,908人 | どこバス   | 2020年 8月          | 【金額】 500円<br>【範囲】 市街地全域<br>【運行】 バス事業者              |

## 2. 留萌市の現状

### ■ 現状と課題

- 留萌市内近郊線は運行時間が**最大1時間**程度かかることや便数が少ないなど、利便性向上を望む声が多く寄せられている。
- また、一部の地域で交通空白が生じていることから、市内公共交通の利便性向上・交通空白解消に向けた施策に取り組む必要がある。

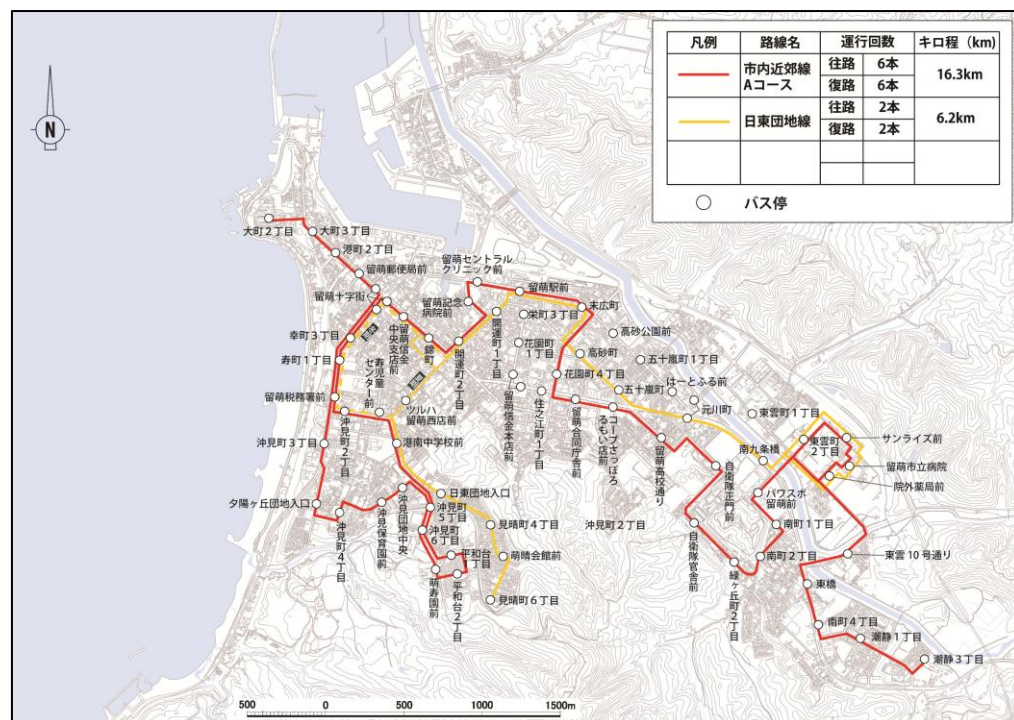


図 市内線運行経路図(留萌幌糠線除く)

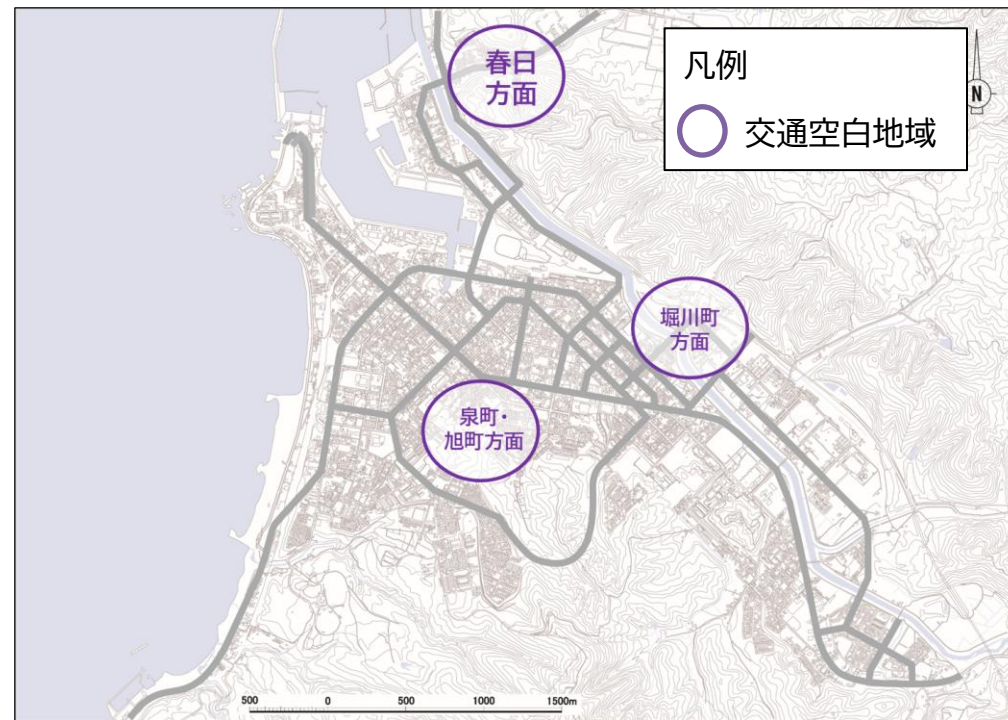


図 市内交通空白地域(バス停から500m以上)



## 2. 留萌市の現状

### ■ 現状と課題

- ・ デマンド交通導入に対する国補助金が令和9年度まで(2/3補助)



令和8年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト  
**「交通空白」解消タイプ**



国土交通省

○ 『「交通空白」解消に向けた取組方針』に基づき、令和7～9年度の集中対策期間において、全国に存在する「交通空白」解消に目処をつけるため、**「交通空白」地区等において**、公共ライドシェア・デマンド交通・乗合タクシー等の導入や、医療・福祉・教育等の他分野の関係者が連携して移動手段を支える仕組みの構築を**調査から運行までをトータルで支援**。

**対象主体**

地方公共団体、交通事業者、公共ライドシェアの実施主体であるNPO法人、協議会等  
又はこれらを含む協議会・連携スキーム

- ※ 「交通空白」リストアップに記載のある地域を実施エリアに含む事業を対象とする。
- ※ 「交通空白」解消・官民連携プラットフォームに参加している者に限る。
- ※ 地方自治体の推薦および地方運輸局または運輸支局の事前協議を必須とする。



▲各地の取組例  
左：被災地へのデマンド交通導入（石川県輪島市）  
右：交通結節点からの「観光の足」確保（熊本県人吉市～鹿児島県霧島市）

**補助対象経費**



①事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会・説明会等開催に要する費用  
(ヒアリング調査・利用予測シミュレーション、有識者謝金・会場使用料 等)

②サービス提供のために必要となる輸送施設の導入、配車アプリ・運行管理等のシステム開発・導入、  
③サービス提供に際し実施する広報や運転者募集・研修等に要する経費  
(輸送施設の設置、リースによる取得、仕切板・ドライブレコーダー等の設置等の改造、運転者を募集するための広告費用 等)

④サービス提供に際し実施する要する費用  
(運行経費、実証事業後の利用データ分析、路線・区域・料金設定等の検討 等)

**補助率**

**500万円まで定額、それを超える場合は2/3（上限1億円）**

※東京23区および三大都市圏の政令指定都市（川崎・横浜・相模原・さいたま・千葉・名古屋・京都・大阪・堺・神戸）は補助率1/3（定額無し）  
※車両購入に係る費用については定額補助の対象外（車両購入は、対象事業者自身が有する車両がサービス提供のために活用することができない場合に限る）  
※商業・福祉・教育等の他分野の関係者が実質的に運行に関わる（人的・物的・金銭的）場合、定額の引き上げ（上限750万円）

### 3. 検討方針

#### ■ 対応

- ・ 補助金を活用しながら令和9年度のデマンド型乗合タクシーの実証運行を目指す。
- ・ 令和8年度はオンデマンド交通検討部会を設置し、実証運行に向けた調査・検討を実施。

#### ■ 調査・検討内容

| 検討分類     | 項目           | 具体的な論点                                       |
|----------|--------------|----------------------------------------------|
| ①運行・エリア  | 運行時間、対象エリア   | ・交通空白地域や医療機関・買い物拠点のカバー<br>・既存バス路線との競合を考慮した運行 |
| ②運行計画・料金 | 実証時期、期間、料金設定 | ・実証運行の時期、期間の検討<br>・バス、タクシーを考慮した料金設定          |
| ③車両・システム | 使用車両、予約手法    | ・使用車両の検討<br>・電話予約、スマート予約(アプリ等)などの予約手法の検討     |

## 4. スケジュール

### ■ スケジュール案

| 協議体              | 7月                  | 8月                           | 9月 | 10月 | 11月 | 12月                 | 1月         | 2月                  | 3月          |
|------------------|---------------------|------------------------------|----|-----|-----|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 留萌市地域公共交通活性化協議会  | 第2回<br>地域公共交通活性化協議会 |                              |    |     |     | 第3回<br>地域公共交通活性化協議会 |            | 第4回<br>地域公共交通活性化協議会 | 補助金<br>交付申請 |
| オンデマンド交通<br>検討部会 |                     | 検討部会<br>の開催<br><br>自治体<br>視察 | →  |     |     |                     | 検討状況<br>報告 | 実証運行<br>(案)提出       |             |